

ウニの発生に係る研修会



受付



礼文地区漁業士の開会挨拶



漁業者を中心に60名の参加者が集まった

- (1) 日 時 平成21年10月29日 14:00～17:30
- (2) 場 所 礼文郡礼文町(礼文町民活動総合センター「ピスカ21」)
- (3) 主 催 宗谷管内漁業士会礼文地区漁業士 4名
- (4) 参加者数 60名
- 香深漁業協同組合、船泊漁業協同組合、(社)北海道栽培漁業振興公社、礼文地区水産技術普及指導所、中央水産試験場、稚内水産試験場、宗谷支庁産業振興部水産課

(5) 会議開催の目的

地区の重要な漁業資源である「エゾバフンウニ」と「キタムラサキウニ」について、発生の変遷や、海況変化と漁獲の関係について学習し、知見を深める事で今後の漁業生産に役立てるために実施した。

(6) 会議内容

北海道立中央水産試験場及び稚内水産試験場より講師を招いて開催。

統計資料や礼文島の調査結果から水産試験場がとりまとめた内容について、漁獲量の推移とその理由を中心に講義を受けた。

【講演内容】

「ウニ類の発生と海洋環境」 : 北海道立中央水産試験場 主任研究員 干川 氏

「ウニ類の発生と漁獲の関係」 : 北海道立稚内水産試験場 研究員 合田 氏

質疑応答では、「キタムラサキウニとエゾバフンウニの生息場所は競合してしまうのですか？」など活発に質問が出され、意見の交換が行われた。